

キリマンジャロでの日食観測

テレビ朝日観測隊

テレビ朝日では、今回の皆既日食を対象にして、開局30周年特別番組を制作した。ロケは、アフリカのタンザニアとケニアで行ない、ゴダイゴ、渥美清らをリポーターとして、人間と自然のおりなすドラマに主眼を置いた。タンザニアでは3班から編成し、そのうちの1班はキリマンジャロ山の中腹で本影錐とコロナを撮影するため、特にスタッフを強化し、数年前にK2登頂記録映画を撮影した、赤松氏と塚本氏に依頼した。他の2班は、レイクマニアラでの動物の動きなどを目的としたロケを行った。一方、ケニアでは、マリンディ近郊のローマ大学宇宙追跡ステーションでベースを張っている東京天文台の観測隊のサイドで、コロナの撮影を行った。これらのうち、晴天に恵まれたキリマンジャロ山腹での結果を報告しよう。

キリマンジャロは、皆既帯の北限線を通るが、キボピークは、わずかであるが皆既帯をはずれているので、山頂でのコロナ撮影は断念し、中腹の見晴しの良い場所でキャンプを張った。観測地が北限に近いこともあり、予報時刻の正確な値を知る必要があるため、日本出発前に東京理科大学天文研究部OB会に依頼して、コンピューターによる接触時刻を求めている。また、キリマンジャロでの観測地の正確な経緯度を知るため、北辰電機から借用した、人工衛星による測位装置NNS Sを用いた。この結果、下記の様な値を得た。

経度： 37° 25' E

緯度： 3° 08' S

高度： 4,054 m

一方、接触時刻は、現地標準時刻で

第1接触： 9 h 52 m

第2接触： 11 h 21 m 皆既時間 40 秒

第3接触： 11 h 22 m

第4接触： 12 h 58 m

観測器材は、望遠鏡マークXが3台で、このうち2台に16 m/mムービーを同架させ、コロナを写した。VTRは5台用意し、専ら、地上の風景を写した。VTRのうち1台は本影錐の移動の撮影を試みたが、映像としては明瞭に出なかった。

これらの様子は、3月25日にテレビ朝日の「アフリカの黒い太陽」で約90分に渡り放映した。

(文は佐藤壽治氏の講演をもとにまとめたものです。……編集部)